

(別添 1)

令和 2 年度共同募金運動における共通助成テーマ
実施要項

令和 2 年 7 月 30 日
社会福祉法人 中央共同募金会

1 令和 2 年度共同募金運動における共通助成テーマ

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」

2 テーマの趣旨

- ・新型コロナウイルスの影響を受け、人と人とが距離を取り、接触する機会を減らすことが求められたことで、我々の多くが、日常的にも誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さにあらためて気づかされました。
- ・しかしながら、コミュニケーションを取りづらい状況下、共同募金が進めてきた、社会的孤立 や孤独に立ち向かう活動が力を発揮しにくい状況が生まれています。
- ・つながることが難しい中であっても、つながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して、取り組む活動を支援することは、with コロナの社会づくりに大きな共感が得られると考えます。
- ・また現在、都道府県共同募金会、中央共同募金会において実施されている全国キャンペーンも、コロナ状況下におけるつながりづくりを主題に展開されており、テーマの連続性の観点からも、市民に広く受け入れられるものと考えます。
- ・共同募金における全国共通助成テーマとしては、平成 25 年度より「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」が継続中ですが、このテーマを包含した共通助成テーマとして「つながりをたやさない社会づくり」を掲げ、令和 2 年度の運動展開を図っていきたいと考えます。

3 実施年度

令和 2 年度共同募金運動（令和 2、3 年度「共同募金（一般募金）」、「地域歳末たすけあい」、「NHK 歳末たすけあい」助成事業）において実施

4 実施団体

都道府県共同募金会、市区町村共同募金委員会、中央共同募金会

5 協力団体（予定）

都道府県・指定都市社会福祉協議会、市区町村社会福祉協議会、全国社会福祉協議会
各地域での社会的孤立の課題解決に取り組む NPO、ボランティア団体、NPO 支援センター
各地域の行政機関、専門機関等

6 助成事業のイメージ

コロナ状況下における以下のような活動が広く対象となります。

1) 接触のあり方を模索しながら支援を続ける活動

衛生環境に配慮しながら実施する居場所づくり等

2) つながりの手法を模索しながらの支援展開

電話やネットを活用した相談支援活動、リモートによる学習支援活動等

3) 活動の情報を共有して知恵を集積する活動

コロナ状況下でのつながりを模索して活動している事例集約や共有のための研修等

4) コロナ禍の影響を受けて生じた社会的孤立や孤独の問題、経済的困窮の課題に取り組む活動

コロナ禍を受けて新たに顕在化した課題に取り組む新規活動等

※助成事業のヒント（事例集）を今後作成予定です。

※助成は「未来の豊かなつながりアクション(<https://tunagari-action.jp/>)」における活動とも共通性があると考えていますのでご参照ください。

7 助成対象となる団体の例

社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、NPO・ボランティア団体、自治会・町内会等の地縁組織、その他助成テーマの趣旨に沿った活動を実施する団体 など

8 テーマ推進にあたっての留意点

テーマの推進にあたっては、下記（1）～（3）により、社会福祉協議会を始めとした関係機関との協働の場づくりを行ったうえで、各地域における課題や活動の実態を踏まえた具体的な助成内容と計画、運動展開等の企画について十分に検討してください。

（1）各地域におけるテーマ推進のためのプラットフォーム（協働の場）づくり

①テーマ推進のためのプラットフォーム（協働の場）づくり

中央共同募金会企画・推進委員会答申「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造～共同募金における運動性の再生～」をふまえ、共同募金会は、社会福祉協議会やその他の専門機関、NPOなど多様な機関・団体とともに、コロナ禍の影響を受けて顕在化する地域課題や、活動実施のうえでの課題を協議し、協働で課題解決に向けて取り組むためのプラットフォームを設置し、当該地域でのテーマによる助成事業の内容、キャンペーン展開、募金活動の方法に関する企画を進めます。

②社会福祉協議会との連携強化

「つながりをたやさない社会づくり」は共同募金における全国共通助成テーマ「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」を包含したものであるという考え方です。ついては本助成テーマが一過性のキャンペーンに終わることなく、社会的孤立の解消・予防へ直結した運動として展開していくために、全国社会福祉協議会による「社協・生活支援活動強化方針」に基づき、共同募金会と社会福祉協議会との連携

の強化を図ります。

(2) テーマ助成の計画と募金運動

全国共通助成テーマによる助成の計画及び募金運動については、次の2つの方法のいずれかにより都道府県共同募金会が計画・実施します。

①共同募金運動における実施

共同募金による助成計画の中に共通テーマ助成枠を設定し、テーマを強調する形で共同募金運動を展開します。

②新たな助成計画の策定と独自の募金運動の実施

従来の共同募金による助成計画とは別に、新たにテーマ助成の計画及び募金目標を策定し、共同募金運動の期間を拡大することなどにより、テーマに特化した独自の募金運動を展開します。

③全国キャンペーンと連動した募金、広報、助成の実施

テーマは「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン(赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン)」とテーマ性が共通し、期間の重なりがあります。つきましては、全国キャンペーンと募金活動、広報展開、助成の募集や内容について連動させ、共通性を持たせることで相乗効果がある活動展開を図ります。

(3) 共通助成テーマの積極的な広報・啓発と募金運動

①テーマの積極的な広報・啓発

テーマの推進にあたっては、活動への助成の実施に止まらず、各地域における社会的孤立の状況について地域に広く発信することを通じて、地域住民の理解を促進し、課題解決のための活動や募金活動への参画を進めます。

②NHK プロジェクトと連動した広報、助成の実施

テーマは、NHK ウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」とテーマ性が共通し、期間の重なりがあります。つきましては、NHK プロジェクトと広報展開について連動させることで相乗効果がある活動展開を図ります。

③関係機関と協働した募金運動展開

実際の募金運動を行う際は、社会福祉協議会、その他の専門機関、NPO、テーマによる助成を受ける団体などと協働し、テーマ助成と連動した募金運動と広報活動を広く展開します。